

仙台市の広報活動におけるICT活用について

資料8-4

本市における広報についての考え方

- 広くあまねく、市民に情報を伝える。格差が生じないようにする。
- 効率良く、多くの市民に情報伝達できるメディアの利用を優先する。
- ICTの成果を活用する。

本市における広報の現状

既存の紙メディア、TV・ラジオ等の放送メディアだけでなく、インターネットのホームページなどの新しいメディアも活用している。

インターネット利用の現状

- 国民の約8割がPCや携帯電話からインターネットを利用している。
- そのうち約半数の利用目的は、企業・政府等のホームページの閲覧となっている。
- Twitterの利用は数%。

今後の広報へのICT活用への認識と要望

- ICTを活用した、市民が利用し易い新しいメディアの積極的な活用。
- 携帯の普及状況や、緊急時に効率よく多くの市民に情報伝達できる点から、自治体から情報発信できる全ての事業者による緊急速報メール運用体制の整備を要望。